



第2回いきいき、クリニック避難訓練



2月28日に松江市南消防署の方々に御協力をいただき、火災発生を想定した訓練を行いました。

横木院長を先頭に総勢22名の職員がスタッフ役と患者さん役に分かれ、火災発生時の対応を訓練しました。実際に火災報知器を鳴らし、火元確認・通報・初期消火・緊急時返血操作・避難誘導・非常用袋持ち出し・安否確認報告と、それぞれの配役に忠実に行いました。

今年は1人のスタッフが、受け持ちサークルの5~6名の患者様の自動返血をして抜針後に避難する手段か方法を設定。護送が必要な方には救護担架を使用しました。

消防士の方々から、総評と改善項目をお話し頂き、意見交換後は、消火器の取り扱いの説明を受け、模擬消火を実施しました。

今回初めて参加した職員から、「本当の火災ではパニックにならないよう、繰り返し訓練しなければいけないと思いました。」と感想がありました。



初期消火不能です！！

血を返してから針を抜きますね



大丈夫ですよ。誘導しますからね。
落ち着いて避難しましょう





柵とベッドボードをはずしましょう。

足元に気をつけて

大丈夫ですか？外にでましたよ。



無事に脱出 さあ避難場所へ



反省会も真剣そのもの



火元の3mまで近づいて
ホースの口をしっかりとぎって
はい噴射!!!

